

箕面市障害者事業団 ニュース

令和4年(2022年)1月

新年のごあいさつ

会議や講演会など、人が集まる催しについては「オンライン」や「リモート」での開催が定着してきました。確かに「密」も回避でき、移動の手間も省けるなど便利ではありますが、個人的には人と人とのつながりという面で、直接お会いできないさみしさや味気無さを感じています…。

現状、新型コロナウイルスの感染者数も減少傾向にあり、徐々に普段の生活へと戻りつつありますが、オミクロン株の懸念もあり、まだまだ油断はできないですね。

当事業団でも引き続き、マスクの着用、手洗い・うがいの励行、施設内の換気や消毒等の感染対策を継続しながら、日々業務に取り組んでまいりますので、本年も皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

それでは、各部署の近況についてお知らせする「ニュースレター」を作成いたしましたので、ご一読いただければ幸いです。 (事務局長 野田泰弘)



この1年(令和3年)のトピックス

～今回ご紹介するのは次の5点～

1. 20年超ぶりに1号職員(障害者職員)を新規採用 (P.2)
新たな仲間について、現在までの様子をご紹介します。
2. 箕面市障害者雇用支援センターで就労継続支援B型事業を開始 (P.3)
昨年お届けした事業団ニュースで「お知らせ」したその後です。
3. 豊能北障害者就業・生活支援センターでの取り組み (P.3)
コロナ禍への対応やニーズを掘り起こす取り組みを進めています。
4. ヒロシの重大ニュース (P.4)
事業団ホームページでのブログ執筆などの啓発担当の高田浩志職員の近況です。
5. 収益の確保に向けた取り組み (P.4)
コロナ禍で大きな影響を受けた自動販売機設置事業についてです。

箕面市障害者事業団 令和

令和2年から続くコロナ禍により様々な影響がありましたが、そんな年の障害者事業団での出来事や取り組みを、各部署から報告させていただきます。

新たな1号職員が仲間に加わりました！

(はじめに)

令和3年11月1日、事業団として20年以上ぶりに1号職員を1名採用しました。複数の応募があり、応募者には受付時に作業内容等の説明を兼ねた面談を行い、後日、勤務部署となる緑化部門（ライフプラザ）で職場実習を行いました。実際に働く場所で、応募者は作業内容を知る機会に、職員は個々の特性を理解する機会となりました。9月から10月にかけて実施しましたが、まだまだ暑い日が多かったなか、応募者の皆さんは本当に一生懸命作業に取り組まれました。その後の面接を経て新たな1号職員となったのが宮崎友里さんです。1号職員の平均年齢が年々高くなっていることから、フレッシュなマンパワーとして期待しています！



《辞令交付式》

(サポートについて)

コミュニケーション面では、本人からの発信が難しいところがあるので、宮崎さんが通われていた就労継続支援B型事業所の担当者と事業団職員、また本人も交えて、今後の必要なサポートについて支援会議を行い、職場スタッフにも障害特性や配慮事項の共有をはかりました。日々のご家族との生活面などのやりとりは連絡帳を用い、また、職場からの連絡事項等をお伝えするのにも活用しています。



《落ち葉の掃除》

(作業の様子)

採用から現在までしっかりと作業に取り組んでおられ、その姿から、ともに作業する職員たちは元気をもらっています。実習時は苦手だった観葉植物への水やりも日に日にうまくなり、一つひとつ作業を習得していています。周りのサポートがあれば働くことが出来る方々が、まだ大勢おられるということを改めて感じます。



《除草作業の様子》

3年(2021年)の取り組み色々

『こよせんB型』 ぴかぴかの1年生



令和3年1月から開始した就労継続支援B型事業（以下、B型）ですが、現在5名が利用されています。B型の活動の場として喫茶るうぷメイプルホール店を再オープンさせ、喫茶店の清掃や接客、その他様々な活動を行っています。

調理実習や就労を目指す上で大切な体力をつけるために滝道へのウォーキングをそれぞれ週に1回程度のペースで行います。こよせんB型で独自に定めた2年間という利用期間の活動を通して、利用者に様々な『経験』を積み『自信』をつけていただきたいと思います。



B型を開始してからは、プログラム内容や職員体制等を試行錯誤する1年でしたが、『将来、一般企業への就職を目指す』という方向性を利用者と職員がともに意識することで、有意義な時間を過ごすことができました。来年もバージョンアップしながら、様々なことを利用者に経験していただきたいと思います。

豊能北障害者就業・生活支援センターでの取り組み

- With コロナでWebでの面談や会議を実施
顔が見えるので安心感に。遠方の会議にも気軽に出席。



- いろんな方に気軽に知っていただくためにガイダンスをスタート

ご本人はもちろん、ご家族、関係機関等の方にも参加していただいています。



以前から興味があった方、センターの名前は知っているけど何をしている所かは知らない方等、是非お気軽にご参加ください。

詳しくは事業団のHPのお知らせへ。

- 登録者状況 登録者 596人（うち在職者 360人）、2021/11月末現在

2021年 ヒロシの重大ニュース

- ①突発的な発熱で、人生初のPCR検査を受けたが陰性とわかりひと安心。
- ②支援者と私がコロナの濃厚接触者になり、二度目のPCR検査も陰性だったが、2週間の自宅待機を余儀なくされた。
- ③大腸内視鏡検査で、ステージ3の大腸がんが見つかる。すぐに摘出手術を決め、手術は無事成功。10日間の入院と2週間の自宅療養をした後、職場復帰。抗がん剤治療での副反応は今のところ無く、治療は順調。



市内公園へ自動販売機を新たに設置

箕面市内の公共施設等の建物・敷地内に自動販売機を設置しています。収益は障害者の働く場づくりに活用しています。今年度は5か所の都市公園に各1台自販機を新規設置しました。すべり台が人気の「彩都なないろ公園」、見晴らしのよい「森町中央公園」、広いグラウンドがある「唐池公園」、散策路がお勧め「箕面東公園」ボール遊びができる「西脇公園」です。また、「彩都の丘学園」にも熱中症対策に自販機を設置しています。お出かけの際は、「(一財)箕面市障害者事業団」シールが目印の自販機を是非ご利用ください。



あとがき

令和3年4月と9月にあった人事異動で、総務課の体制が刷新されて初めての刊行物の発行となります。各部署から集まってくる記事のレイアウトや編集作業に四苦八苦しなからまとめましたが、最後までお読みいただきありがとうございます。

収束の兆しが見えかけていたコロナ禍も、新たな変異株が見つかる(編集時点)などまだまだ予断を許さない状況が続きそうですが、みなさまにとって令和4年が良い年となることを願っております。

箕面市障害者事業団 ニュース 令和4年(2022年)1月

発行：一般財団法人 箕面市障害者事業団

〒562-0015 大阪府箕面市稲一丁目11番2号 ふれあい就労支援センター4階
電話 072-723-1210 FAX 072-724-3383 Email info@minoh-loop.net